



児童会選挙の告示

今年度児童会活動もまとめの時期を迎え、まもなく5年生を中心とした児童会に引き継がれようとしています。先日、次期児童会長選挙が告示されました。そして、藤原天珂さん、森山紗菜さん、山口隼杜さんが立候補しました。

5年生にとっては、ここが学校を背負って立つ意識をもつために大切な転機となります。いま、選挙管理委員会の児童が活躍していますし、やがて各委員長・副委員長として全員の力が必要とされます。

23名の5年生は、各委員会の三役、そして地区児童会の三役を引き受けることとなり、どの子も人前に出て、その会の牽引役を担うこととなります。ここが小規模校のよさでもあります。これからの麻績小を背負うという意識をもつ、そして活動に責任感をもつ、大きな成長の機会でもあります。

5年生を中心とした今後の児童会、そして子どもたち一人ひとりの活躍に期待します。

そり・スキー教室

1・2年生のそり教室、3・4年、5・6年生のスキー教室が開かれています。身近にスキー場がある麻績の子どもはととても恵まれていて、スキー教室は年2回経験できます。冬休みの最終日、先生方が聖高原スキー場の下見に向かいました。雪の少ない今シーズンですので、係の先生は延期することも考えて出かけたのですが、



予定どおり実施可能であるとのこと。驚きつつも、子どもたちのやる気を大切にできることをありがたく思いました。

何度も何度もそりをもって斜面を駆け上がってそり遊びを楽しむ姿、そしてインストラクターの方の指導を受けて自分の滑りをよりよくしようと取り組む姿など、子どものがんばりの姿が見られます。

わたしも、昨日(17日)は、5・6年生のスキー教室に同行しました。

経験を積んできている高学年の皆さんだけあって、スキー用具の扱いにも慣れてるし、練習内容にも見通しが持てているし、何より自分のめあてを

持って取り組むことができているのは、さすがです。インストラクターのアドバイスを受けて、何とかできるようにと各自努力していました。半日過ぎる頃には、明らかに滑りが変わってきています。子どもたちはやはり大したものです。

一番楽しみにしていたお昼のカレーもおかわりをいただき、元気を取り戻



して午後のレッスンになりました。風が出てきて一層寒さも増して、でも弱音をはく子もなくあつという間に今日の滑りを確かめる時間を迎えました。どの子も一日の上達を感じながらいい笑顔でレッスンを終えることができました。

5・6年生であっても一日でこれだけの伸びが感じられるのです。わたしは来週、今度は3・4年生の教室にも参加させてもらいます。更に「伸びしろ」が大きいであろう子どもたちに、期待いっぱいしています。何よりも、皆が元気にけがもなく冬のスポーツを満喫できることに感謝です。そして、準備を整えて子どもたちを送り出してくださるお家の方々に感謝です。麻績の子たちは恵まれていますね。

来年度に向けて ~その1~

【1 水曜日6時間授業の通年実施】

今年度は、10月より水曜日6時間の日課を設けて取り組んできました。これは、国の定める「英語」（5・6年生）、「外国語活動」（3・4年生）の学習時間を確保するためです。

子どもたちは、この日課に少しずつ慣れてきています。来年度は、4月より年間をとおして水曜日6時間としたいと考えます。

【2 開校50周年記念行事】

おめでとうこの機会に、村教育委員会にて以下のようにお祝いを考えていただきます。

- (1) 11月8日（金）に記念式典開催。子ども、保護者、地域の皆様にも、ともにお祝いしていただける式に。
- (2) 記念誌を編集。30周年記念誌以降の20年分を記録に残す。
- (3) 子どもには記念品（贅沢なものではなく）を贈る。

今年度を振り返り、来年度へとつなぐ時期を迎えています。お家の皆様のご意見をお聞かせください。